

7. NPO/NGO

	主要項目	参考事例
持続可能な開発のための協働・対話	<ul style="list-style-type: none"> ➤ NPO/NGOを招いて会合を開催する。 	<ul style="list-style-type: none"> ➤ NPOらを招いて環境をメインテーマとしたステークホルダーミーティングを開催。 ➤ 国際NGOとパートナーシップを構築し、持続可能性という観点から環境方針や環境活動の妥当性を検証（松下電器）
NPO/NGOとの協働による環境保全活動	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 資金的支援にとどまらず、人的協力や情報提供、技術支援など多様な支援を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 「森と水を守る」を基本コンセプトに、地球環境保全をテーマとした海外ワークキャンプを、マレーシアでNGOと協働で実施。水を各世帯へ供給するシステムを設置（三洋電機） ➤ NPOと協働で、センサーネットワークシステムを利用した広域環境モニタリング事業を展開（日本電気） ➤ NPOと協働で、子供向けの環境教育プログラム「Kids ISOプログラム」を展開（富士ゼロックス） ➤ NPOとの協働で市民のための環境公開講座を1993年から継続開催。また、環境NGOとのパートナーシップにより学生を環境NGOへの派遣する「CSOラーニング制度」を運営（損保ジャパン） ➤ 日本経団連自然保護協議会を通じた内外プロジェクトの支援。

8. 途上国

	主要項目	参考事例
「海外進出に際しての環境配慮事項」の徹底	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 地球規模のエネルギー利用率の改善を目指す。 	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 環境関連技術の移転を目的とするNGOの活動に参画し、途上国の環境技術向上を支援（デンソー） ➤ クリーン開発メカニズム（CDM）の事業化調査案件として、マレーシアでのバイオマス利用プロジェクト（パームオイル工場の廃液からメタンガスを回収し発電を行う）の事業化調査を、北海道電力と組んで実施（大成建設） ➤ 世界銀行カーボン・ファンドへの出資（750万ドル、ホンジュラスの「エスペランザ水力発電プロジェクト」）が、クリーン開発メカニズム理事会により承認（温室効果ガス37000トン分の削減効果）（大和証券グループ）